

NJLPT

読解ワークブック

新日语能力测试

读 解

对策练习

N2

目黑真实 编著 车成利 译

✿ N2级别读解对策练习

✿ 6个单元，13个阅读主题，39篇读解练习

✿ 详细解读读解问题的解题方法

✿ 培养综合分析、解答读解问题的能力



大连理工大学出版社

NJLPT

読解ワークブック

新日语能力测试

读 解

对策练习

N2

常州大学图书馆
目録真実 編著 卒成利 译
藏 书 章



大连理工大学出版社

图书在版编目(CIP)数据

新日语能力测试读解对策练习. N2 / (日) 目黑真实
编著. — 大连 : 大连理工大学出版社, 2010. 9

(日语能力考试习题集)

ISBN 978-7-5611-5637-7

I. ①新… II. ①目… III. ①日语—水平考试—习题
IV. ①H369.6

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2010)第 133368 号

大连理工大学出版社出版

地址:大连市软件园路 80 号 邮政编码:116023

发行:0411-84708842 邮购:0411-84703636 传真:0411-84701466

E-mail:dutp@dutp.cn URL:http://www.dutp.cn

大连力佳印务有限公司印刷 大连理工大学出版社发行

幅面尺寸:185mm×260mm 印张:10.75 字数:244 千字

印数:1~5000

2010 年 9 月第 1 版

2010 年 9 月第 1 次印刷

责任编辑:张 凡

责任校对:李 静 董梦瑜

封面设计:季 强

ISBN 978-7-5611-5637-7

定 价:22.00 元

はじめに

本著「読解ワークブック N2」は、上級の日本語学習者が読解力を高めるために作成された読解総合問題集で、各回が短文2題と長文1題で構成されています。また、レベル的には、2010年から実施される新日本語能力試験のN2に対応しています。

さて、日本語能力試験にせよ、日本留学試験にせよ、読解試験で問われているのは、「速く正確に読む」にはどうすればいいかということです。しかし、「速く読む」ということは「急いで読む」ことではありません。そんな読み方ではミスが増えて、誤答が増えるだけでしょう。

「速く正確に読む」ためには三要素があります。

- (1) は、日本語の文章に慣れること。
- (2) は、正しい文法知識と語彙を増やすこと。
- (3) は、背景知識を増やすことです。

これらの三要素を育てる最良の方法は多読です。さまざまな分野の文章を多く読みながら、一步一步、文型、語彙、背景知識を増やしていくしかないので。その効率を高めるために、本著では、6分野にわたってテーマを取り上げ、問題を解きながら、各分野毎によく使われる語彙を学び、同時に文型や基礎知識も学べるようにしてあります。そして答えを間違ったときは、巻末の「読解問題の解き方」を参照しましょう。読解問題の答えは必ず本文の中にあり、数学問題のように答えが一つに絞られるように作られていますから、練習を重ねるにつれて、確実に正答率が高まるはずですよ。

なお、日本の有名な大学受験を目指している学生は、各大学が入試の際に実施する校内試験（日本語）対策が必要となるでしょう。その際、校内試験に含まれる記述式問題（要約文や論文も含む）対策が避けて通れませんから、各回の長文読解に含まれる記述式問題を必ず練習するようにしましょう。記述式の問題には、普段からの文章作成練習が必要です。

では、最初は急がず、正確さを第一にゆっくりと問題を解いていってください。解き進めているうちに、語彙量も増え、しだいにスピードもついてくることでしょう。

目黒真実

2010 年 03 月 10 日

文型接続の表記について

本著で使われている、接続に関する表記について説明しておきます。

- ① 原形 : (＝辞書形)
- ② て形 : 行く → 行つて → 行つて - もいい
- ③ た形 : 見る → 見た → 見た - ら
- ④ - う : 寝る → 寝よう → 寝よう - とする
- ⑤ [ない] 形 : 働く → 働か - ない → 働か - なければならない
- ⑤ [ます] 形 : 遊ぶ → 遊び - ます → 遊び - たい
- ⑥ 普通形に接続するときの変化

普通形接続で一番の問題になるのは、N（名詞）とナ形容詞との接続です。動詞とイ形容詞の場合は終止形接続も連体形接続も変わりませんが、N・ナ形容詞の時は大きく言って三種類あります。そのため、接続の形に注目して、次のように表記してあります。

<終止形接続>

普<ナ形 - だ／N - だ>

普<ナ形 - ×／N - ×>

<連体形接続>

普<ナ形 - な／N - の>

普<ナ形 - な／N - な>

なお、終止形接続の中には、少数ですが、「～とか・～とは言え…」などのような引用の「～と」を含む文型と接続するとき、「好きだとは言え／好きとは言え」或いは「好きだとか嫌いだとか／好きとか嫌いとか」のように二種類の接続がある場合があります。この場合は、以下のように記してあります。

普くナ形 - (だ) / N - (だ) >

日本語表現文型の接続型の表記について、いかに簡潔に表記するか、学界でも研究されていますが、上記の表記の仕方は筆者の授業から生まれたものです。

目 次

Unit 1 日本語の世界	1
1 回 ヤマト言葉と漢語	2
< 1 > 低下する漢字能力	2
< 2 > 漢字はお好き？	4
< 3 > ヤマト言葉	6
2 回 変わる日本語と変わらぬ日本語	10
< 1 > 日本語の乱れ	10
< 2 > 「ら抜き」言葉	12
< 3 > 日本人の「すみません」	14
Unit 1 語彙と文型	18
Unit 2 日本文化の起源と変遷	19
3 回 日本人の発想と行動	20
< 1 > 日本人のうなずき	20
< 2 > 察しの文化	22
< 3 > ウチとソトとヨソ	24
4 回 日本の文化と変遷	28
< 1 > 日本人の歩き方の変化	28
< 2 > ラッキョウ文化論	30
< 3 > 日本文化の起源	32
Unit 2 語彙と文型	36
Unit 3 言葉とコミュニケーション	37
5 回 言葉とコミュニケーション	38
< 1 > 会話の喪失	38
< 2 > コミュニケーション不調	40
< 3 > 母乳語は心の糧	42
6 回 社会と言語	46
< 1 > 文字の発明	46
< 2 > シンボル	48
< 3 > 社会と言語	50
Unit 3 語彙と文型	54

Unit 4 異文化理解と国際化	55
7回 異文化理解の視点	56
<1> 異文化コミュニケーション	56
<2> 日本人の宗教観	58
<3> 文化の多様性	60
8回 日本人の行動パターン	64
<1> 言語と国民性	64
<2> 「主張」の文化と「和」の文化	66
<3> 日本人の行動パターン	68
Unit 4 語彙と文型	72
Unit 5 環境と人間	73
9回 日本人と自然	74
<1> 自然は不死鳥?	74
<2> 生態系の危機	76
<3> 森林を守った縄文人	78
10回 暮らしと環境問題	82
<1> ごみゼロ社会	82
<2> もったいない	84
<3> リサイクル社会	86
11回 地球環境問題の発端	90
<1> 近代科学の誤謬	90
<2> 人間の驕り	92
<3> 征服型戦略の破綻	94
Unit 5 語彙と文型	98
Unit 6 ITと情報社会	101
12回 情報社会とコミュニケーション	102
<1> 肌で感じる大切さ	102
<2> 情報社会の落とし穴	104
<3> 情報の文明学	106
13回 情報社会の功罪	110
<1> 速度によって失うもの	110
<2> ケータイ依存症	112
<3> IT革命と心の眼	114
Unit 6 語彙と文型	118
解答	119
<巻末>読解問題の解き方	129



Unit 1

Unit 1

日本語の世界



1 回 ヤマト言葉と漢語

<1> 低下する漢字能力

小学1年生は漢数字が苦手、¹⁾半数近くが「八つ」を読めず、約3割が「一つ」と書けないことが、7日、「日本教育技術学会」の漢字習得度調査で分かった。特に小3以降で、書き取りの力が急激に低下することも判明した。

調査では、テレビの視聴時間が「3時間未満」の子どもと「3時間以上」の子ども「書き」の得点を比べたところ、小3ではほとんど差がないが、小4、5では「3時間以上」の子どもの方が16点（200点満点）低くなった。

この記事でおもしろいのは、低下するのが漢字の「読み書き」のうち、「書き」の方だということだ。私もパソコンや携帯電話を多用するようになって、漢字の書き取り能力の低下を実感している。「読み」と「書き」を比べて、²⁾それにかかる時間が少なくなるので、低下が著しいということだろう。

なお、引用記事の前半「八つ」「一つ」の間違ひは、（ a ）子どもたちを含めた社会生活の変化に、その原因の一つがあるだろう。機会があれば詳しい私見を述べたいが、簡単に言えば、「1、2、3・・・」を「ひ、ふ、み・・・」と言う機会が、「いち、に、さん・・・」と言う機会よりも少なくなっている、と思えるからだ。

（風のほーせん<ニックネーム>「遊び学さまぐれ日記」より）

～ず：表示否定，不，没

-^{わり}割：成，10分之一

^{くら}比べる：比较，对比

～た-ところ：……时候，正要

ほとんど：几乎

～ようになる：（逐渐）变成

^{いちじる}著しい：显著，明显

おそらく：恐怕

なお：再者，另外

^の述べる：说明，阐明

選択式問題

(1) (a) に入る語句として、最も適当なのはどれですか。

- | | |
|---------|-----------|
| 1. ぜひ | 2. おそらく |
| 3. かならず | 4. もしかしたら |

(2) 1)「半数近くが「八つ」を読めず、約3割が「一つ」と書けない」とありますが、それはどうしてですか。

1. テレビを見過ぎているから。
2. パソコンや携帯電話を多用しているから。
3. 子供たちの漢字能力全般が低下しているから。
4. 「ひ、ふ、み・・・」を使う機会が減ったから。

(3) 2)「それにかかる時間」とありますが、「それ」は何を指していますか。

- | | |
|---------|-----------|
| 1. 読み書き | 2. 読み |
| 3. 書き | 4. テレビの視聴 |

(4) 本文の内容と合っているのはどれですか。

1. 子どもたちの漢字能力の低下は、「読み」より「書き」の方が目立つ。
2. 小学生の半数が「八つ」を読めないのは、本を読まなくなったからだ。
3. テレビの視聴時間を少なくすれば、漢字を読む能力はよくなるだろう。
4. パソコンや携帯電話の使用が増えると、しだいに漢字が読めなくなる。

■ 文法メモ ■

001 ～ず (に) : 「八つ」を読めず、約3割が「一つ」と書けない…

- | | |
|----------|--------|
| ◆ V [ない] | ◆ ～ないで |
|----------|--------|

002 ～た - ところ : 子どもの「書き」の得点を比べたところ、…低くなった。

- | | |
|---------|------------------|
| ◆ V <た> | ◆ ～たら～した (既定・発見) |
|---------|------------------|

003 ～ようになる : 私もパソコンや携帯電話を多用するようになって、…

- | | |
|--------------|--------------|
| ◆ V <原 / ない> | ◆ しだいに～状態になる |
|--------------|--------------|

< 2 > 漢字は好き？

小学生のころには、漢字の書き取りテストに苦しめられたはずだ。だが、ある程度の漢字を覚え、その使い方をマスターしてしまえば、こんな便利な文字はちょっと他にないとまで感じる**ものだ**。

かつて漢字廃止論者たちが唱えたように、(a) 漢字は難しい。しかも漢字は種類が多く、(b) 五十種前後しかない仮名やローマ字と違って、小学校で習うだけでも一千以上もある。もちろん一千字程度では足りず、日常生活で使うにも、だいたいその倍くらいは必要であろう。

だが、それなら仮名だけで日本語を書けばよい**か**という**と**、なかなかそうはいかない。それは、漢字を使わない文章がとても読みにくく、誤読を起こすこともあったから**に他ならない**。

使い古された例文だが、「きょうはいしゃにいく」は、「今日は医者に行く」なのか、それとも、「今日、歯医者に行く」なのかわからない。この混乱は文中に漢字を混ぜることで、すぐに解消される。もちろん、分かち書きをすれば、仮名書きでもわかるのだが、「庭には二羽鶏がいる」を「にわ には にわ にわとり が いる」と書いた時の、どうしても間のびした感覚に違和感を覚えるのは私だけではないだろう。

(阿辻哲次「漢字は好きですか」より)

苦しめる：使伤脑筋

マスターする：掌握，精通

～ものだ：当然是，应该是

かつて：曾经

唱える：^{とな}提倡，倡导

せいぜい：最大限度，充其量

足りる：足，够

～かということ：说到……的话

なかなか～ない：根本不是……

～に他ならない：^{ほか}正是……

使い古す：^{つか}^{ふる}用滥，用旧

混ぜる：^ま掺入，加进

どうにも：无论如何，不管怎样

間のびする：^ま(时间)延缓，拖延

選択式問題

(1) (a) (b) にはどの語が入りますか。最も適当なものを選んでください。

(たしかに／せいぜい／まるで)

(a)

(b)

(2) 1) 「なかなかそうはいかない」とありますが、それはどういうことを言っていますか。

1. 仮名だけでは、日本語を書き表すことはできないこと。
2. 仮名だけで日本語を書いた場合、いろいろ問題が起こること。
3. 漢字とかながなければ、日本語を書き表すことはできないこと。
4. 仮名だけを使って日本語を書くには、分かち書きが必要であること。

(3) この文章の内容と合うものを選んでください。

1. 小学校では、漢字の学習に多くの時間を割くよりも、もっと現代社会に必要な科目の学習に力を入れる方が合理的である。
2. 漢字を覚えるのは容易なことではないが、漢字以上に便利な文字はないのだから、もっと漢字教育に力を入れるべきだ。
3. 漢字はとても便利な文字だが、小学校で千字以上も覚えなければならないのは負担が大きすぎるので、習う漢字量を減らした方がいい。
4. 漢字廃止論者の試みが成功しなかったのは、漢字を使わない文章がとても読みにくく、誤読を起こす可能性があったからである。

■ 文法メモ ■

004 ～ものだ：こんな便利な文字はちょっと他にないとまで感じる**ものだ**。

◆ V<原／ない>／形<い・な／ない> ◆ 一般に／誰でも～である

005 ～かという：それなら仮名だけで日本語を書けばよい**か**という、…

◆ 普<な形 - ×／N - ×> ◆ (～か) について話すと

006 ～に他ならない：誤読を起こすこともあったからに**他ならない**。

◆ 普<な形 - ×／N - ×> ◆ 正に～であり、それ以外ではない

＜3＞ ヤマト言葉

(注1)
ヤマト言葉という古い日本語の体系が確立した時代には、まだ日本には文字はありませんでした。そこに漢字が中国文化を携えて輸入されました。中国文明の中で大きいものは儒教と仏教です。私たちは漢字といっしょに、儒教や仏教や医学や薬学を受け取って、**それによって日本の暮らしや文化をつくってきました。**

ところが、今から150年近く前にヨーロッパ、アメリカから全然違った文化が押し寄せてきました。^{めいじ}明治政府は、法律にも科学にも医学にもヨーロッパの業績を進んで取り入れました。その時、生のままのヨーロッパ語を使わず、ヨーロッパ語を一度漢字に置き換えて、日本語の中に持ち込む技術を日本はもっていました。その結果、日本では、ヨーロッパの進んだ技術や文化を持ち込むに**当たって**、アジア諸国のような言語的な困難が少なく、アジアでは最も早く産業革命や近代化を実現することができたのです。

歴史を見ると、日本はそれぞれの時代に、世界の各地からトップクラスの文化を次々に輸入してきました。^{やよい}弥生時代には、南インドからお米・金属・^{きしよく}機織・お墓づくりを取り入れ、^{こふん}古墳時代には朝鮮から金属器の使用などの技術を取り入れ、^{あすか}飛鳥・奈良時代には、中国から漢字によって多くの先進文化を輸入し、【ア】。

日本人はきわめて忠実に、「この言葉の由来は何か」ということを字で書き分けています。古来のヤマト言葉は平仮名、中国から来た言葉は漢字、ヨーロッパ文明から来た言葉は片仮名です。「うつくし」とか「あそぶ」とか、これは平仮名で書くヤマト言葉で、古くからあった言葉です。次に、中国から輸入された言葉、「観念」とか「愛情」とか、これは漢字で書きます。「うつくし」や「あそぶ」を、「美し」「遊ぶ」と漢字で書くようになったのは^(注2)平安時代以後です。

明治時代以後ヨーロッパから、特に戦後にアメリカから来た単語は片仮名で書くので、カタカナ語と呼ばれます。新しい単語が**ぞくぞく**と加わって、非常な勢いで増えています。⁽³⁾漢語は現代日本語の単語の半分を占めていますが、将来、カタ

カナ語は漢語のかかなりの部分に取って代わり、日本語の単語を構成する割合は大きく変わると思います。(a)、平仮名で書く言葉はそれ**ほど**変わらないでしょう。(b)、ヤマト言葉は、毎日の基本的な一般生活に密接に関係する基礎語が多く、その基礎語によって幼児や少年少女の知能や判断力の基本的な枠組みが決定的に育まれるからです。

(大野晋「日本語練習帳」より)

(注1) ヤマト言葉：和語の別名。ヤマトは「倭」「大和」とも書く。

(注2) 平安時代：794年～1185年/1192年ごろ。794年に桓武天皇が平安京（京都）に都を移してから、鎌倉幕府の成立までの約390年間を指す日本の歴史の時代区分の一つ。

^{たす}携える：携同，带着

～によって（方法）：表示方法，手段

^お^よ押し寄せる：涌上来，蜂涌而至

^と取り入れる：吸收，采纳

^{なま}生のまま：原样不动

～ず：表示否定，不，没

～に^あ当たって：在……的时候

トップクラス：顶级

きわめて：十分，极其

ぞくぞく：接连不断地

^{いきお}勢い：势头，气势

かなり：相当，颇

^と^か取って代わる：取代

^{わりあい}割合：比例

^{わく}枠組み：框架

^{はく}育む：孕育

■ 文法メモ ■

007 ～によって（方法）：それによって日本の暮らしや文化をつくってきました。

◆ N ◆ ～で／～を使って（手段・方法）

008 ～てきた：…日本の暮らしや文化をつくってきました。

◆ V<て> ◆ （過去から現在への）継続・変化

009 ～に当たって：ヨーロッパの進んだ技術や文化を持ち込むに当たって、…

◆ N ◆ （何か重要なことを）～する前に

010 ～ほど～ない：平仮名で書く言葉はそれ**ほど**変わらないでしょう。

◆ 普く^な形^{-な}／N-X ◆ ～に比べて、そんなに～ない（比較）

選択式問題

(1) 【ア】に入る文として、最も適当なのはどれですか。

1. 生活や文化を育ててきました
2. ひらがな、カタカナを生み出しました
3. 世界第二位の経済大国になりました
4. 日本固有の文化を築いてきました

(2) (a) (b) にはどの語が入りますか。正しい組み合わせのものを選んでください。

1. a : ですから b : したがって
2. a : しかし b : というのも
3. a : さて b : さすが
4. a : ところが b : けっきょく

(3) この文章の内容と合っているのはどれですか。

1. 現代の日本語は、ヤマト言葉の体系の中に、中国から来た言葉（漢語）や欧米から来た言葉（カタカナ語）を取り入れることで成立している。
2. カタカナ語は欧米から輸入された語を表すときに使われているが、今後も増え続け、将来、漢語の語数を超える可能性がある。
3. 欧米から取り入れた新しい概念を、漢字に置き換える技術があったのは、アジアの中では日本だけであった。
4. 日本がアジアの中でいち早く産業革命や近代化を実現できたのは、欧米の進んだ技術や文化をカタカナ語にすることができたからである。

記述式問題

(1) 1)「そこへ漢字が中国文化を携えて輸入されました」とありますが、文中の「そこ」は何を指していますか。

_____。